

トウモロコシとソルガムの混播栽培で省力と多収を狙おう！



スノーデント110 (LG3520)



ハイグレインソルゴー

●混播によるメリット

1番草はトウモロコシを主体に、ソルガムの再生草を利用することで、1度の播種で省力的にトウモロコシ+秋作物の2毛作と同等以上の収量を得ることができます。

●播種適期

一般地：4月中旬～4月下旬
西南暖地：4月上旬～4月中旬

●栽培のポイント

播種期は通常のソルガムの播種適期より早めとし、抑制気味に育てることがポイントです。これにより1番草はトウモロコシ主体の栄養価の高いサイレージを調製することができます。播種期が遅くなるとソルガムの生育は旺盛になりますが、トウモロコシの生育が抑制され、実入りが悪くなったり、全体の水分が高くなりサイレージ発酵にも影響することがあります。

●品種の組合せと播種量

一般地	播種量：	スノーデント110 7000粒/10a	+	ハイグレインソルゴー、雪印ハイブリッドソルゴー 1～2 kg/10a
	播種量：	スノーデント115、スノーデント115ポラリス 6000～6500粒/10a	+	ハイグレインソルゴー、雪印ハイブリッドソルゴー 1～2 kg/10a
西南暖地	播種量：	スノーデント118シルマ 6000～6500粒/10a	+	ハイグレインソルゴー、雪印ハイブリッドソルゴー 1～2 kg/10a

※ソルガムの播種量は1～2kgの間で播種期が早ければ多く、遅ければ少なくする。

●播種方法

コーンプランターにソルゴーアタッチを付けることできれいに播種できますが、無い場合はプランターの肥料ホッパーで代用可能です。その場合、粒状石灰などで量を調節する必要があります。肥料と種子を混合すると種子が肥料焼けすることがあります。

●肥培管理

トウモロコシに準じ、1番草収穫後に窒素とカリウムを3～5 kg/10a追肥します。

●除草剤

ソルガムに準じます。

●収穫適期

1番草はトウモロコシの黄熟期、2番草は霜でソルガムの水分が低下してから収穫するのが良いでしょう。

